

放射線化学療法後の局所進行非小細胞肺癌における Durvalumab の使用実態調査

1. 研究の対象

2018/8/1 から 2020/3/31 までの間に、局所進行期非小細胞肺癌の患者さんのうち、Durvalumab を投与された方

2. 研究目的・方法

局所進行非小細胞肺癌 (NSCLC) に対する実臨床における放射線化学療法後の Durvalumab 治療に関する有効性、安全性、その他の特徴を観察します。下記の情報を診療録より抽出し、解析します。

3. 研究に用いる情報の種類

性別、年齢、PS、GRT 開始時の Stage、組織型、血液データなどの患者背景
放射線と併用した化学療法、GRT 中の発熱性好中球減少症の有無などの放射線治療関連
Durvalumab 治療コース数、Durvalumab の RECIST PD 日などの治療効果判定
Durvalumab 治療後の後治療に与える影響について など

4. 外部への情報の提供

研究事務局への情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者

公益財団法人日本生命済生会日本生命病院 総合内科 立花 功
〒550-0067 大阪市西区江之子島 2-1-54

研究事務局

公益財団法人日本生命済生会日本生命病院 総合内科 甲原 雄平
〒550-0067 大阪市西区江之子島 2-1-54

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学 白山 敬之
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

その他の研究施設

大阪国際がんセンター/近畿中央呼吸器センター/大阪はびきの医療センター/大阪大学
医学部附属病院/大阪刀根山医療センター/市立豊中病院/大阪警察病院/市立吹田市民病

院/西宮市立中央病院/第二大阪警察病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 田宮 基裕
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69
電話：06-6945-1181 (代表)

研究代表者：

公益財団法人日本生命済生会日本生命病院 総合内科 立花 功
住所：〒550-0067 大阪市西区江之子島 2-1-54

-----以上